

◎本機をご使用になる前に必ずお読み下さい。

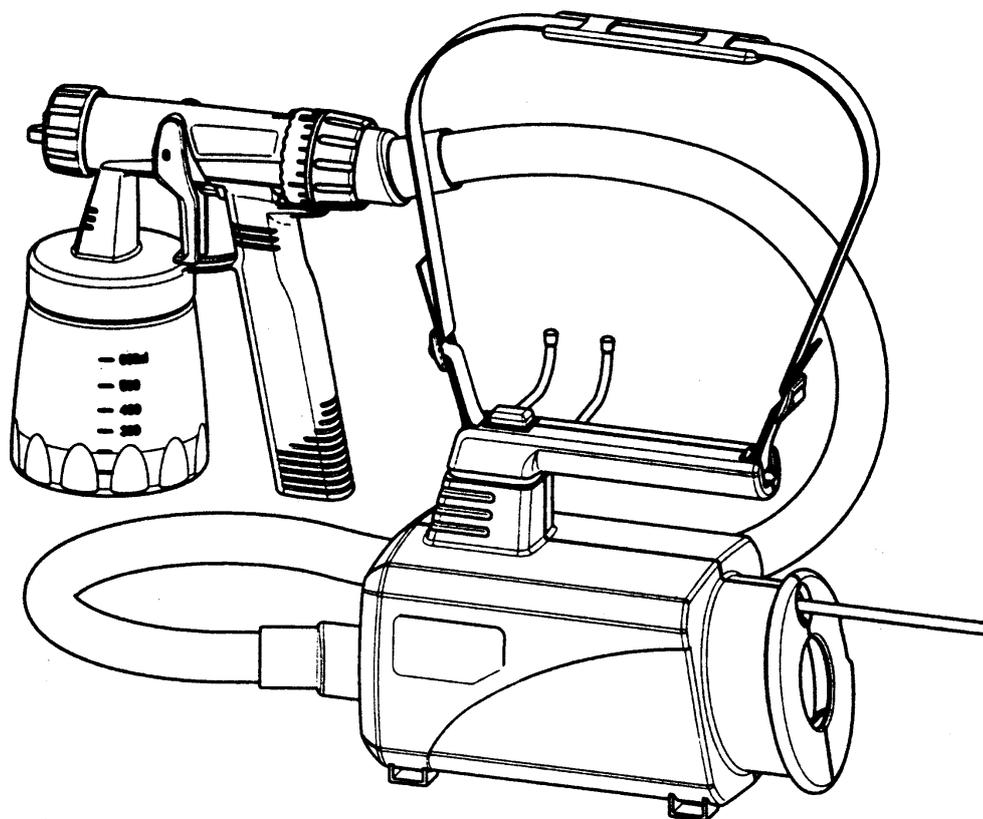
WAGNER

温風低圧塗装機シリーズ

ファインコート

W640

取扱説明書



日本ワグナー・スプレーテック株式会社

目次

ページ

1. 安全使用上の注意	1
2. 製品仕様	2
2-1. 仕様一覧及び標準セット	2
2-2. 各部名称	2
3. 使用方法	3
3-1. 塗料の粘度調整	3
3-2. ショルダーベルトの取付	3
3-3. エアーホースの取付	4
3-4. ガンホルダーの組立て	4
3-5. 塗料の注入	5
3-6. スプレーガンの固定	5
3-7. スプレーパターンの調整	5
3-8. 吐出量の調整	6
3-9. 塗装	6
3-10. エアーフィルター	7
4. 作業の中断及び終了後の洗浄	8
4-1. 作業の中断	8
4-2. 作業終了と洗浄	8
5. トラブルの原因と対策	10
6. アクセサリー	11
7. 分解図及び部品名称	12

※本製品は、水性塗料専用です。

1.安全使用上の注意

ファインスプレーW640を安全にお使い頂くために、必ず次の注意事項をよくお読み下さい。
正しい手順で扱わないと、場合によっては重大な事故を引き起こす恐れがあります。
この取扱説明書の注意事項には次の3種類の項目があります。

警告

この表示は、使用者が重傷を負う、または死亡する可能性のある危険性についての“警告”が記されています。

注意

この表示は、使用者が負傷する、または機器が破損する可能性のある危険性についての“注意”が記されています。

(注) 取扱説明書内で、特に注意を促す必要のある項目には(注)と記しています。

警告

- 本品をご使用の前に全ての取扱説明書、ラベルをお読み下さい。
- 作業を始める前に機械を点検し、損傷・破損箇所がないか、また異音等がないことを確認して下さい。
- 国や自治体の消防、電気、安全関連の法規・規則にしたがって作業を進めて下さい。
- 本機は、本機専用の部品からのみ設計・製造されています。従ってワグナー指定以外の部品を使って本機を使用し、事故が起こった場合は、全ての責任はお客様が負うこととなります。
- スプレーガンを他人や自分の身体に向けないこと。
- 作業中負傷し、塗料および溶剤が傷口に入った場合、直ちに医師の診断を受け、使用していた塗料および溶剤を報告して下さい。
- 作業中は十分に換気されていることを確認し、安全衛生上マスクを着用して下さい。
- 塗料メーカー、溶剤メーカーの安全使用上の注意に従い、作業を進めて下さい。
- 本機に直接水をかけないで下さい。また、雨天時には直接雨水がかからないようにして下さい。
本体内部に水が入ると、感電・ショートの危険性があります。

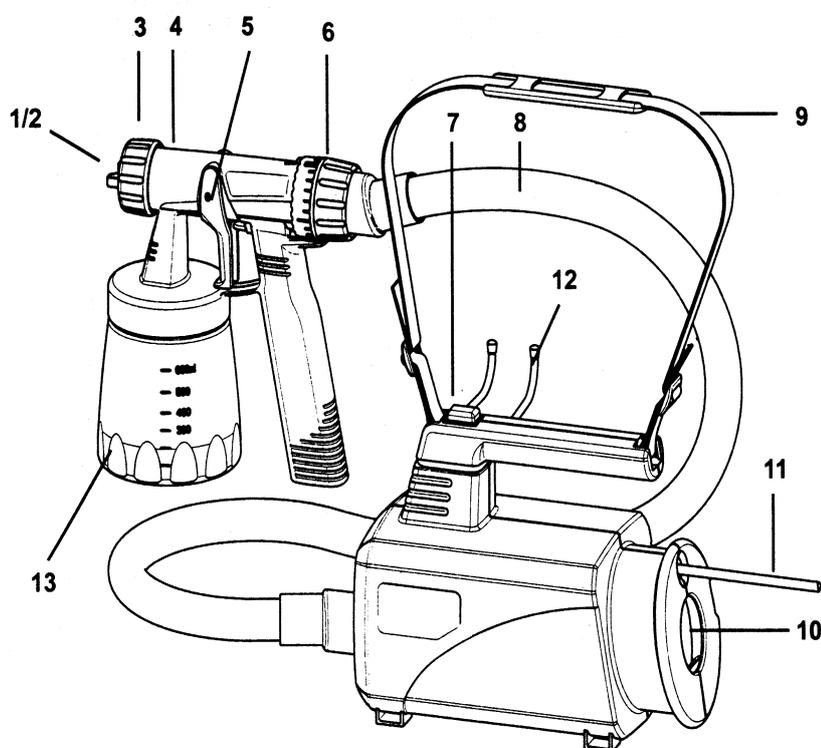
2.仕様一覧

2-1 仕様一覧及び標準セット

定格電圧	AC100V, 50/60Hz
最大消費電力	300W
最大吐出量	360cc/min (水)
最大使用粘度	130mPa
作動音	71dB
重量	2.1kg

本体		1
エアースホース	1.8m	1
スプレーガン	φ2.5ノズル	1
	コンテナ600cc	1
粘度計	P/N 209058	1
取扱説明書		1

2-2 各部名称



1. エアーキャップ
2. ノズル
3. エアーキャップナット
4. ガン本体
5. 引き金
6. 吐出量調整ノブ
7. スイッチ
8. エアースホース
9. ショルダーベルト
10. エアーフィルター
11. 電源コード
12. ガンホルダー
13. コンテナ
14. 粘度計(DINカップ)

3. 使用方法

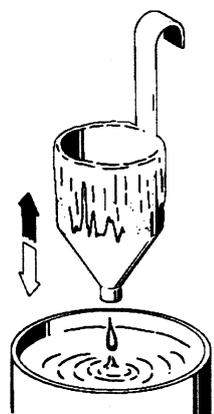
3-1 塗料の粘度調整

注意！

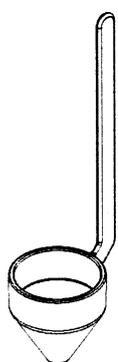


使用する塗料の仕様表を必ず確認して下さい。

1. 測る前に十分攪拌して下さい。
2. 粘度カップでの測定方法(ワグナー製、DINカップ)
カップを塗料に完全に浸し、持ち上げ、底の穴から塗料が出終わるまでの時間を測ります。



50342 (オプション)



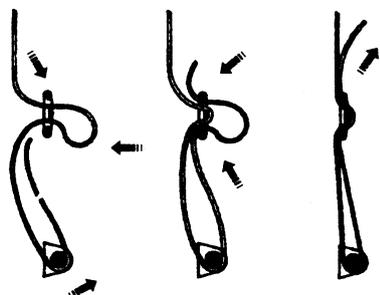
209058 (標準)

例)

水性プライマー	80~130mPa(25~35 秒)
水性ニス	50~100mPa(20~30 秒)

注) 上表は目安です。
使用される塗料、目的によって変わります。

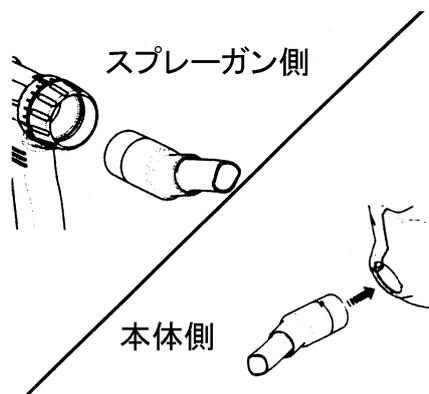
3-2 ショルダーベルトの取付



付属のショルダーベルトを使う場合
左図の要領で取付けて下さい。

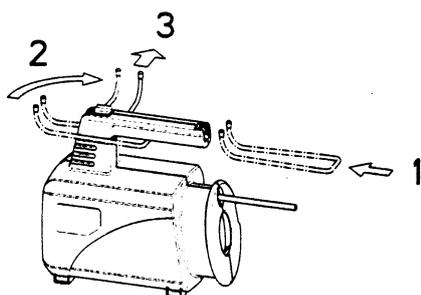
注) 正常に取り付けられているか、必ず
確認の上、肩から吊り下げて下さい。
ケガ、機械の損傷の原因となります。

3-3 エアーホースの取付



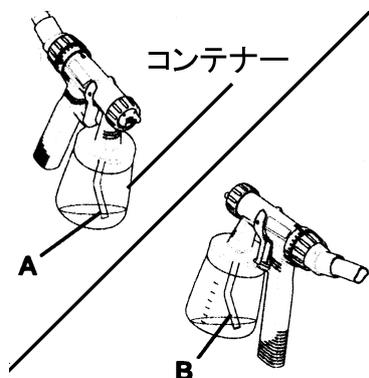
- ・ エアーホースを本体とスプレーガンに少し強めに差込む。
- 注) 差込みが弱いと、スプレー中に外れ、塗装出来なくなります。
- ・ 取付け位置は、自由に決められます。作業に合わせて取付けて下さい。

3-4 ガンホルダーの組立て



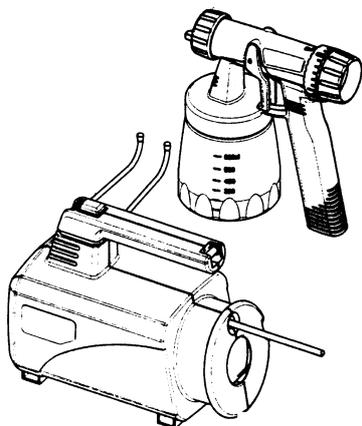
1. ホルダーを取付位置の約 2/3 差し込む。
 2. 右、左をどちらかに回します。
(吊り下げる向きに)
 3. 取付溝に、入るまで引っ張ります。
- 注) 取付溝に正しく取り付けている事を必ず、確認して下さい。

3-5 塗料の注入



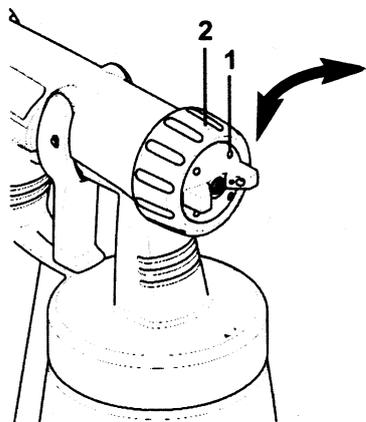
1. スプレーガンからコンテナを外します。
 2. サクションチューブの向きを決めます。
下面に向ける時は、前に回す(A)。
上面に向ける時は、後に回す(B)。
- 注) 少し強めに差し込んで下さい。
3. 粘度調整された塗料をコンテナに入れ、スプレーガンに取付けます。
- 注) 少し強めにねじ込んで下さい。
入れ過ぎないように注意して下さい。

3-6 スプレーガンの固定

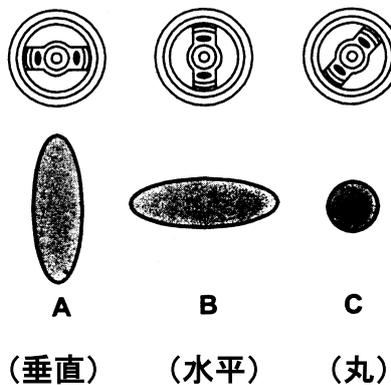


本体のガンホルダーに差し込んで下さい。
注) 本体は、整理整頓された水平な場所に置いて下さい。

3-7 スプレーパターンの調整



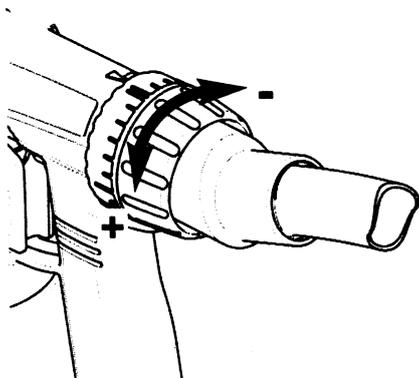
1. エアークャップナット(2)を少しゆるめます。
2. エアークャップ(1)の位置を決めます。
目的に合わせ、下図のA・B・Cの位置にします。



3. エアークャップナットを締付けて、エアークャップを固定します。

注) エアークャップの爪の位置が、垂直・水平 45° で固定して下さい。エアーの量が少なくなります。

3-8 吐出量の調整



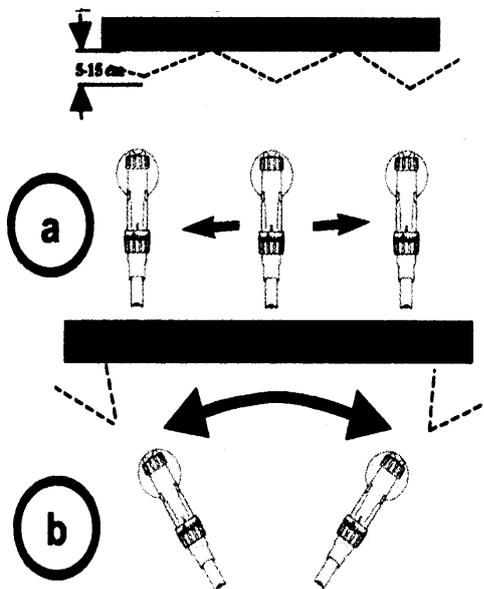
ガン後部のノブを回すことによって、調整できます。

(+)方向(左回し)・・・「0」～「最大」

(-)方向(右回し)・・・「最大」～「0」

- 注) ・ ノブは無理に回したりせず、
ゆっくり回して下さい。
・ 止まったら、「0」、「最大」の位置を確認し、それ以上回さないで下さい。

3-9 塗装



1. 試し吹きで、吐出量、パターン調整を行い、仕上がり具合を見て、塗料の粘度調整などを行います。
2. 塗装面はホコリ、油分などのないようにし、吹き付けしない部分は養生等を行います。
3. 塗装面から 5～15cm 離し、平行に移動させます 左図(a)。平行でない左図(b)は、悪い例で端と中央部で塗りムラが出ます。
4. 塗装面の外側から吹き付け始め途中止めしないで反対側へ出てから止めます。

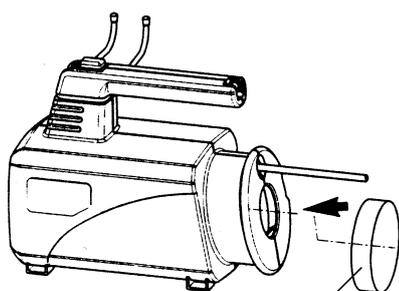
- 注) ・ スプレーガンの移動を一定にして下さい。
・ 手首だけではなく、腕を振って下さい。
・ 一度に厚く塗らず、コーナーなど複雑なところから始め、2～3回で仕上げるようにします。

3-10 エアークリッター

注意



- ・ エアークリッターは定期的に交換して下さい。
(エアークリッター量が減少し、霧化が悪くなります。又、モーターの冷却が悪くなります。)
- ・ エアークリッター無しで使用しないで下さい。
(ホコリやゴミを吸い込み、塗装面の仕上がり不良やモーターの故障などの原因となります。)



エアークリッター

- ・ エアークリッターは指でつまんで取り出せます。
- ・ 表面の「なだらか」な方をモーター側にして下さい。

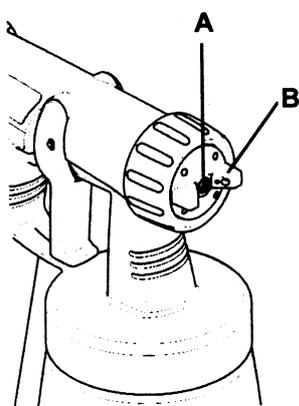
4.作業の中断及び終了後の洗浄

注意



- ・ 作業を中断する場合は、必ず電源スイッチを「OFF」にして下さい。
- ・ 長時間中断する場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いておいて下さい。

4-1 作業の中断



ノズル(A)、エアーキャップ(B)が塗料で汚れていたり、詰まった場合は、部品を外して、洗浄液で洗って下さい。

注) 樹脂製の部品の洗浄には、金属製のブラシ等は使用しないで下さい。

4-2 作業終了と洗浄

1. スイッチを「OFF」にして、コンテナを外します。
2. コンテナに残った塗料を容器に移します。
3. コンテナに少量の洗浄液を入れ、内部を洗い、ガン本体に取付け、コンテナを少し揺すります。
4. スイッチを「ON」にして、引き金を5～6回引いて、捨て吹きします。
5. スイッチを「OFF」にしてコンテナを外します。

6. 汚れた塗料を捨て、きれいな洗浄液を少量入れ、ガン本体に取付け、コンテナを少し揺すります。
7. スイッチを「ON」にして、引き金を引いて捨て吹きをします。
8. スイッチを「OFF」にして、ガン本体から、エアホースを外し、エアキャップナット、エアキャップ、ノズル、コンテナ、サクションチューブを外し、ブラシ等で洗います。
ガン本体部は、布などに洗浄液を浸し、拭いて下さい。
9. 洗浄が終わったら、乾燥させ組立てして下さい。

注)・洗浄液を捨て拭きする時、開口部の小さい空缶などに拭き戻さないで下さい。
・樹脂製パーツを金属製ブラシなど洗わないで下さい。

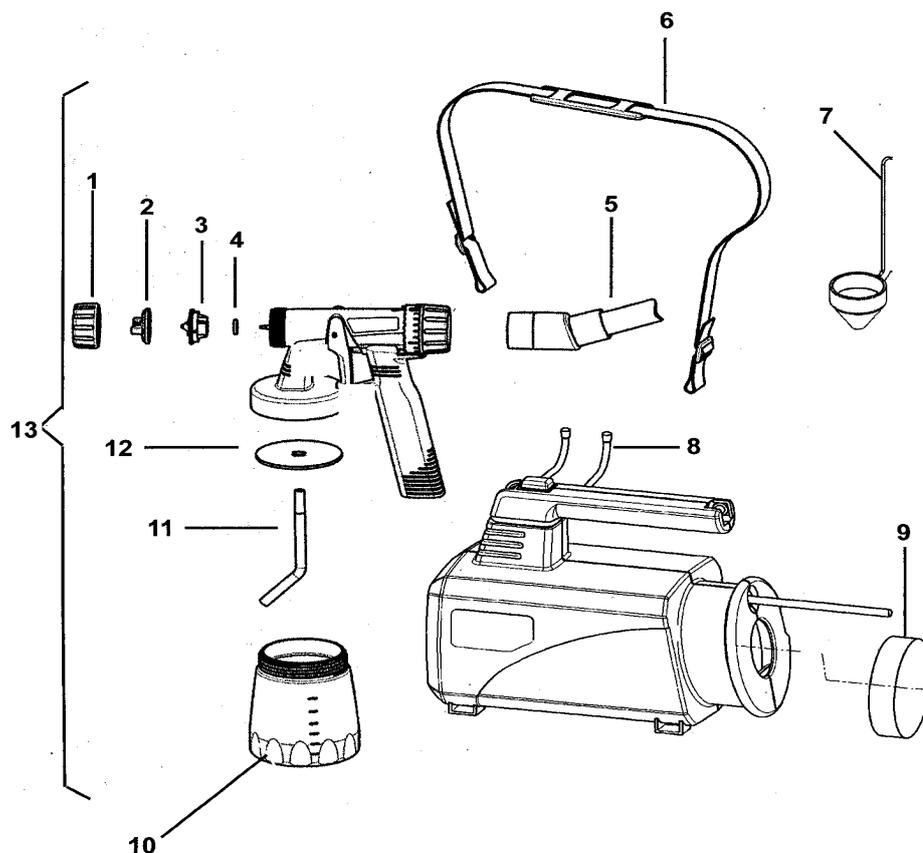
5.トラブルの原因と対策

症状	原因	対策
<ul style="list-style-type: none"> ノズルから塗料が出てこない 	<ul style="list-style-type: none"> ノズルが詰まっている サクシオンチューブが詰まっている 吐出量調整ノブが右(-)側に回りすぎている サクシオンチューブの取付がゆるい コンテナの取付けがゆるい 	<ul style="list-style-type: none"> 分解・洗浄 分解・洗浄 左(+)側に回す 少し強めに差込む 少し強めに締付ける
<ul style="list-style-type: none"> 引き金を引かないのに塗料が漏れる 	<ul style="list-style-type: none"> ノズルの締付けが弱い ノズルが摩耗している ノズルに異物が詰まっている 	<ul style="list-style-type: none"> 締付ける 交換 分解・洗浄
<ul style="list-style-type: none"> スプレー粒子が粗い 	<ul style="list-style-type: none"> 塗料の粘度が高い 吐出調整ノブが左(+)側に回り過ぎている エアフィルターが詰まっている エアホースの取付けが弱い 	<ul style="list-style-type: none"> 薄める 右(-)側に回す 洗浄もしくは交換 少し強めに差し込む
<ul style="list-style-type: none"> スプレーした塗料が垂れる 	<ul style="list-style-type: none"> 塗料粘度が低い 吐出量が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 塗料を加え高くする 吐出量調整ノブを左(+)側に回す
<ul style="list-style-type: none"> オーバースプレーになっている 	<ul style="list-style-type: none"> 被塗物とスプレーガンの距離が離れ過ぎている 	<ul style="list-style-type: none"> 5~15cm位に近づける

6.アクセサリー

粘度計	標準	P/N 209058
	オプション	P/N 50342
エアークリッパ	P/N	P/N 9995617
コンテナ	P/N	P/N 414906

7.分解図及び部品名称



IA30000A

POS	品番	品名	数量	備考
1	414351	キャップナット	(1)	
2	414368	エアーキャップ	(1)	
3	414352	ノズル	(1)	
4	417706	ノズルシール	(1)	
5	414202	エアーホース	1	
6	414204	ショルダーベルト	1	
7	202303	粘土計	1	
8	416220	ガンホルダー	1	
9	9995617	エアーフィルター	(1)	
10	414906	コンテナ	(1)	
11	414363	サクシオンチューブ	(1)	
12	414364	コンテナパッキン	(1)	
13	414201	W640 用ファインコートガン	1	

LA30000A



WAGNER 日本ワグナー・スプレーテック株式会社

本社: 〒574-0057 大阪府大東市新田西町2-35 TEL:072-874-3561 FAX072-874-3426

札幌 TEL.090-8824-4320 関東 TEL.042-379-1161 関西 TEL.072-874-3558 福岡 TEL.092-472-5533

FAX.042-379-1166 FAX.072-874-3426 FAX.092-471-8206

仙台 TEL.090-8822-5956 名古屋 TEL.0562-98-8621 鹿児島 TEL. 099-265-3806

FAX.0562-98-8623 FAX.099-265-3627

◎仕様・部品番号・価格は予告なく変更することがあります。